

# ひらこ図書館だより

平田高等学校図書館 2025年1月 第9号

## ♪ 新しい本が仲間入りしました♪

### 0類 全般・図書館

- (007/ミ)『深掘り!IT 時事ニュース 読み方・基本が面白いほどよくわかる本』 三上洋 著  
(049/マ)『世の中は、「暗黙のルール」に満ちている』 (秘)情報取材班 編

### 1類 宗教・哲学・心

- (141/ニ)『アカデミックマインド育成講座 10代から身につけたい探究型思考力』 西岡尅誠 監修；東大カルペ・ディエム 著 カルペディエム

### 2類 歴史・伝記・地理

- (204/ゴ)『教養としての文明論 「もう西洋化しない」世界を見通す』 呉座勇一, 與那覇潤 著  
(209/ヤ)『歴史の流れがパッと頭に入る!12のパターンで理解できるもう忘れない世界史』 山本直人 著

### 3類 社会・政治・経済・教育

- (319/イ)『10年後、僕たち日本は生き残れるか 未来をひらく「13歳からの国際情勢」』 石田和靖 著  
(330/テ)『帝国データバンクの経済に強くなる数字の読み方』 帝国データバンク情報統括部 著  
(330/ハ)『13歳からの経済のしくみ・ことば図鑑』 花岡幸子 著；matsu イラスト  
(361/カ)『〈寝た子〉なんているの? 見えづらい部落差別と私の日常』 上川多実 著  
(366/ヤ)『やりたいことがわからない高校生のための最高の職業と進路が見つかるガイドブック』 山内太地, 小林尚 著；倉田けい イラスト  
(378/タ)『育てにくい子の家族支援 親が不安・自責・孤立しないために支援者ができること』 高山恵子 著

### 4類 数学・科学・医学・看護

- (440/キ)『宇宙ヤバイ スケール桁違いの天文学入門』 キャベチ 著  
(440/ヒ)『ウソみたいな宇宙の話を大学の先生に解説してもらいました。』 平松正顕 著  
(469/シ)『図解版人類の起源 古代DNAが語るホモ・サピエンスの「大いなる旅」: ビジネス教養・超速アップデート』 篠田謙一 監修；代々木アニメーション学院 絵  
(481/オ)『動物はいつから眠るようになったのか? 線虫、ハエからヒトに至る睡眠の進化』 大島靖美 著

### 5類 家庭科・技術

- (500/ワ)『カラー図解身のまわりのすごい技術大全』 涌井良幸, 涌井貞美 著  
(596/ツ)『キッチンラボ作って食べておうち実験!』 露久保美夏 著

### 6類 産業

- (627/ハ)『お花屋さんへ聞く!マンガ切り花図鑑 長持ちさせるコツや贈り方を楽しく解説』 花福こざる 著

### 7類 芸術・体育

- (726/サ)『マンガを上手く描くためのノウハウ図鑑 マンガ家100人に聞いて集めた考え方とテクニック200』 サイドランチ 著  
(780/ゴ)『最新のスポーツ科学で強くなる!』 後藤一成 著

### 8類 言語

- (815/マ)『その敬語、盛りすぎです!』 前田めぐる 著  
(816/オ)『10代からの文章レッスン みんなどうやって書いているの?』 小沼理 編著；安達茉莉子 [ほか] 著

### 9類 文学

- (910/ク)『フィクションのなかの警察 目には見えない「組織」とそこで働く「個人」』 熊木淳 著  
(910/サ)『松本清張はよみがえる 国民作家の名作への旅』 酒井信 著  
(913.6/イ)『火星より。応答せよ、妹』 石田祥 著  
(913.6/オ)『嘘と正典』 小川哲 著  
(913.6/カ)『死んだ石井の大群』 金子玲介 著  
(913.6/カ)『探偵はパシられる A DETECTIVE ALWAYS RUNS ERRANDS FOR HIS BOSS.』 カモシダせぶん 著  
(913.6/コ)『そして誰もいなくなるのか And then there will be none?』 小松立人 著  
(913.6/ジ)『物語を継ぐ者は』 実石沙枝子 著  
(913.6/ヒ)『クスノキの番人』 東野圭吾 著  
(913.6/モ)『余命一年と宣告された君と、消えたいと願う僕が出会った話』 森田碧 著

### ♪ 図書委員会「ルーコラム」2年2組 図書委員

日常生活に対して本気になれない百合。彼女はある日、母親と喧嘩して家を飛び出してしまいます。ふと目を覚ますと、そこは何と70年以上前の戦時中の日本でした。突然の展開に戸惑う百合ですが、佐久間彰という特攻隊員に助けられます。彼と過ごす穏やかな日々。百合の中で、次第に彼の存在感が大きくなっていきます。しかし、彰は日本のために命を懸けて戦う一人の特攻隊員です。いつかは戦地に赴かなければならなかったのです……。最終的に、百合は現代にまた戻ることが出来たのですが、そこで彰の気持ちを改めて知ることになります。最後の場面は涙無しには読めません。映画でも、大泣きするほど感動的なシーンでした。